

19/3/26 名古屋城天守閣部会終了後西野所長記者会見

(名古屋市民オンブズマンによる、半自動文字起こしアプリによる文字起こし)

名古屋テレビ：すみません、名古屋テレビですけども、今日、委員の中から、石垣部会の解体について話しが出ましたけれども、所長はどういうふうに考えていますかそれについては。

西野所長：まあ、この天守閣、今日は解体ですけど、私ども天守閣の木造復元をしていくという中で、石垣の適切な保存についてはですね、石垣部会によくご相談をし、ご意見をいただいて進めていく必要がある。

その上で天守閣部会で諮りながら、着実に木造復元をしていく、そういう考えに変わりはありません。

記者：多分おそらく有識者の方は、日程調整と、今の石垣部会の意見っていうところで、時間的にも無理なんじゃないかといろんな矛盾が出ているところで、おっしゃったんじゃないかと思うんですけど、そのあたり実際に間に合うのか、いつごろまでに文化庁に申請いただきたいというふうに考えているのか。そのあたりまとめてお話しいただけないでしょうか。

西野所長：まああの、今回解体の許可をいただいて解体をしてですね、実際の復元する工事は解体をした後でないとできないということがありますから。

その解体していく、間にですね、石垣についての分析等をしていくことによって、そういう期間の中で許可を取れば、いわゆる解体に引き続いて復元をしていくことができるんじゃないかと。

そうすれば、なんていいますかスムーズにスケジュール的にですねスムーズに進むことができる。我々はそれを目指していかなきゃいけない、そういうふうに思っております。

記者：今のお話を伺うと、当初はもちろん去年の秋に申請もらうんで、それが無理だったら最低限今年の5月にもらうと。今のお話だと、解体だけを先に申請もらったっていうことで、さらに、復元については先延ばしができるというふうに考えてらっしゃるところですか。

西野所長：そうですね、本来ですと、去年の秋に復元の許可をいただかないといけない。

我々としては春、復元の許可、5月の文化審議会に当初はやっぱり復元と許可をと考えておりましたけれども、やはり文化庁から石垣部会との認識の一致というふうに言われていましてですね、現時点でまだ我々の調査分析、それから方針それが十分ではないということ

ですので、すぐに今、復元が認められるのは難しいんじゃないか。

一方で、この天守を今、危険な状態を放置するということはできませんので、まずは解体だけでもですね、許可をとって進めていこうと、そういうふうな考えで、そういう考えで進めるに当たってですね。実際今申し上げたような、そういうふうに進めることによって、結果的にですね今申し上げたようなその期間を活用して、石垣部会との認識の一致と言われるそういう、なんていうのですかね分析、まあそれから方針の検討、そういったことをしっかりしていくことによって、解体から引き続き、スムーズに進めていけるようにそういうふうな今考えに至っているということでございます。

記者：石垣部会の解体の件ですけど、もちろん石垣のことは専門家にかかって進めるというのは当然ですけども、本来市の附属機関ですので、市の方針に沿った同意をいただくのが前提ですよ。今ちょっと表現としてはどうかと思うんですが、敵対的な雰囲気になってしまっているの、メンバーを入れ替えるということは、仕組み的には可能じゃないでしょうか。

西野所長：石垣をですね専門に、なんといいですか、ご助言をいただける、そういう専門家の方という方は非常に限られているというふうに認識しておりますので、今お願いしている方々はですね、お願いしている方々の多くは、全国的にですね、あらゆる城郭でいろいろと専門家として関わってらっしゃるところがありますので、なかなか簡単に人が変わるというのはね。いかないところかなというふうに思っておりますので、先生方はやはりその史跡保全というそういうふうな立場で、そういうなんていうんですかね、適切な助言を我々にいただいているんだというふうに思っておりますので、そういう意味では、先生方とよくこれからもお話をしていきたいというふうに思っている。

記者：石垣部会に関してなんですけど、石垣の専門家でいらっしゃる一方で、歴史の専門家であって、耐震性等については一部天守閣部会で話し合うのはどうかという話も中で聞かれたんですけど、石垣部会で審議してる石垣の安全性について、一部を天守閣部会で諮るお考えはありますか

西野所長：前々回の天守閣部会でもご指摘いただいてですね、いわゆるその石垣の安定性についての工学的な検討につきまして、本来はですね石垣部会の西田先生、前座長をやっただいてますけども。そのいわゆる地盤工学の専門家としてお入りいただいたんですが、なかなか高齢でご体調の面があって、今オブザーバーという形ですけども、なかなかご参加いただけないという状況がありますので、そういう意味では工学的な視点が非常に大事ですので、その部分について、天守閣部会に西形先生がいらっしゃいますので、西形先生を中心にそういう工学的なご検討いただくと。いうふうなことを今検討しておる

ところでございます。

それは石垣部会とも今相談をしているというところです。

名古屋市：よろしいですか。はいありがとうございました。

西野：どうもありがとうございました。